

ホロライブEnglish「ENigmatic Recollection」ボイス

「リベスタルでのハチャメチャな日々」

IRyS

キミも聞こえる？

黒い風が吹き、沈む夕陽が血のように赤く輝く。

城壁の向こうで渦巻く霧は.....フジ色？スマイレ色？なんて言うんだっけ？

紫！それだわ！紫.....打ち身の色。ナスの色。

リベスタルを闇が覆う黄昏は近いわ。

剣はちゃんと研いである？切れ味鋭い活躍を期待してるからね。

その通り。自分の色を信じていれば、今夜の戦いを生き抜ける。

夜明けの陽が照らすのは、このあたし——「ピンク髪」と、リベスタルの「翡翠の剣」！

朝日の中に立つあたし達は傷ひとつなく勝ち誇り、

そりゃもうめちゃうちゃカッコいいことでしょう。

だけど、もしあたしが敗れたら.....

いや、そんな心配はしてないわ。

あたしは主人公。この音が聞こえる？

これが主人公補正の音。

矢も剣も槍も、このオシャレファッションを貫けない。

私は死なない！今も、これからも.....ね？

キミも同意してくれて嬉しいわ。

私が無敵だと、キミも私も信じている。

すなわち無敵。賛同者が2人いれば間違いないでしょ。

当然の理論だよ？

だよね。

じゃあ、正門で待機してる兵士達のところへ向かおう。

今こそ拳兵の時！

いい？私が演説するからキミは盛り上げて。

「どうやって？」って.....知らないわよ。

飛び跳ねながら「イエーイ」とか「ヤベー」とか叫んでりゃいいんじゃない？

分かった？始めるわよ。

リベスタルを守る兵士達よ！とうとうこの日がやってきたわ。

うねる汚水が堰を切るかのように、

瘴気の奥からステインの群れが現れ、ついに飛び出してきた。

その数は膨大。ヤツらの破壊衝動はとどまることを知らない。
油断すればキミ達は生きたまま食われる！

しかし恐れることはない！
最強の武器を与えよう——それは希望！
あたしの剣の名前よ。

いい名前でしょ？
まあ、あたしってどっちかと言うと魔法タイプだけど。
この剣も昨日買ったやつ。
使い方も知らないけど、この衣装に合うからね。
それが一番大事でしょ？

ただ！いくらあたしがオシャレだからといって、1人ではリベスタルを守れない。
子を育てるのが村ならば、
城を守るのは兵である！
うん、名言っぽいと思ったけど声に出してみると微妙かも……でも事実よ！

あ～……要するに、団結しなきゃ街は滅びちゃうの！
風にも波にも炎にも、我々は負けない！
ここが我らが家！それが……リベスタルだッ！

城壁の戦闘配置へ！

ふふん……あたしもまだまだイケるね。
あっ、キミ！盛り上げご苦労様。
キミが稲妻なら、あたしは雷鳴……
世界に嵐を起こすのだ！
ハッハッハ！

って、褒めるセリフは戦いの後にとっておいたほうがいいかな……
ん？何か聞こえた。
今のは……まさか。
門を開いて、チラっとだけ確認してみようか。

しまった！あたしは何故こんなことを！？
いや、誰も見てないはず……
だ、誰だ～？門を開けばなしにしたのは～！？
ふん、まあいいわ。

聞きなさいステインども！
まずは、おめでとう。まさか門を突破するとは……
そしてあたしの罠に踏み込むとはね！ガハハハ！

ふっ……瞬殺ね。見た？
あたしの魔力の塊で粉々にしてやったわ。
ほら見て。見て！もう一回！

ポンッ！アハハハ！今の見た？消し飛んじやった！
いい手品だったでしょ？アハハ！

え？「敵の数が多すぎる」？あたしに言わせればまだ足りないけどね。
あたしを誰だと思ってるの？「ピンク髪」よ！
装備は最強！レベルは最大！
集中モード！必殺技の発射準備よし！
内に秘めたる光と闇——
その怒り解き放て！
はあああっ……リベレーション！

はい終わり。ステイン殲滅。
キミの力でも何とかなっただろうけど……今回はあたしがやらなくちゃね。
一緒に戦ってくれてありがとう。明日もこの時間に、ね？

The End

※一部またはすべての音声とテキストファイルの無断複写・無断複製・無断転載を固く禁じます
※タレントのアドリブにより、台本と実際の音声と異なる場合がありますこと予めご了承ください。
© 2016 COVER Corp. NOT FOR SALE